

令和 6 年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	11	学 校 名	藤枝特別支援学校焼津分校	記 載 者	岩附 祥子
------	----	-------	--------------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
ア 安全・安心	命を守る危機管理・安全管理体制の整備と対応力の向上	・危機管理マニュアルを活用し、主体的・具体的に行動できた教員（自分の動きが分かる教員）100%	A	A	
		・安全点検、スクールクリーンを有効に活用し、環境整備や安全対策を行った教員 100%	A	A	・落下防止用ベルトが緩んでいるものがあったので、定期点検の時に触って確認をしたい。
	自他を尊重し合う人権感覚の涵養	・自分から相手に伝わる挨拶や感謝の言葉が言えた生徒・教員 100%。挨拶をされた保護者・参観者 100%	A	A	・現場実習で焼津分校の生徒を受け入れた時、社員から挨拶の評価は高い。
		・共感や相手を思いやる言動が取れた生徒・教員 100%	A	A	・一部教員の言動に傷ついてしまう生徒もいるので、教員の言動について考えてほしい。
		・人権教育全体計画に基づいて多様性や個々の良さを認め合う指導を行った教員 100%	A	A	・多様性、SOGI（性的指向と性自認）の勉強会を行ったと聞き、良い取組だと思った。
		・人間関係等の困りごとの積極的把握に努め、早期に組織的に対応したと答える教員 100% 早期に対応してもらえたと答える生徒・保護者 100%	A	A	
イ 授業	生徒が学びを深め、確かな成長を感じる授業の充実	・授業をとおり「学んだことが分かる」「成長を感じる」ことができた生徒・保護者 90%	A	A	

様式第 5 号

		・学習評価をし、教材研究と授業改善を行った教員 100%	B	B	・教員のもう少しの努力で「～授業の充実」3項目全てがA評価になる。教員は努力をし、授業力を向上してほしい。
		・授業でICT端末を使い課題解決に向け活用することができた生徒・教員 100%	B	B	・ICT端末の使用が不得意な生徒が得意になれるように進めていけたら「できた」という評価が増えると思う。
	授業改善と効果的な業務遂行につながる専門性の向上	・研修での学びを授業改善や生徒指導に反映できた教員 90%	B	B	
		・業務の目標や重要点とスケジュール（期限）を自分で考え、効果的に業務を行った教員 90%	B	B	・見通しを早めに出したい。 ・期限を決め、それを守って完了できるまでが一つの仕事。
ウ 連 携	お互いの理解が深まり、学びある交流・共同学習の充実	・交流活動の目標を達成することができた生徒 100%	B	B	・広島への修学旅行で、平和学習の交流が広島の学校とできて良かった。
		・双方の理解や成長を促す交流活動ができたと評価する教員、保護者、交流相手 90%	A	A	
	「より良い生活」「なりたい自分」に向けた本人の歩みを支える連携	・本人中心で、個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成し、活用した生徒・教員・保護者 100%	B	B	
		・保護者や職場実習先、関係機関等と情報を共有し「なりたい自分」の実現に向けた支援を行った教員 100%	A	A	・職場、仕事内容、スケジュール等、本人・保護者に分かるように伝えてもらえたら頑張る力になると思う。